

福玉便り
ふく た ま だ よ り

2017年12月1日発行

通巻 第67号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会

協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館4F TEL080-4331-0290

2018年も初詣列車で新年会!

～平成30年度成田山初詣列車の旅を開催します!～

2017年1月21日(日)

平成29年も残すところ1カ月となりました。埼玉労福協では、新年の恒例行事として千葉県成田市にある成田山新勝寺への初詣列車での“新年会”を実施しています。

埼玉県内(大宮駅始発⇒南浦和駅・南越谷駅)から成田山駅までの列車の旅で、福玉読者の皆様用として、「2両=100名(リクライニングシート)」を貸切しました。お誘いあわせの上、列車での新年会にご参加下さい。

●予定時刻 集合時間 午前9時頃(大宮駅中央改札前)

宮駅出発時刻 9時23分(予定)～成田駅11時09分到着

※途中の停車駅 「南浦和・東川口・南越谷」からも乗車できます。

●参加費・大人:5,000円・小人(小学生):4,000円

※就学前児童は無料です。但し、座席が必要な場合は小学生料金となります。

※旅行代金には、交通費・お弁当・お茶・飲み物・おつまみ・消費税等諸税が含まれています。

●◇参加の受付 2017年12月4日(月)午前10時から 048-833-8731 埼玉労福協まで(受付平日10:00～16:00)

◎この企画は、JRびゅう川口駅が企画・運行する団体旅行の1部(2両)を優先使用する企画です。

ぽろろんの時間
～教育相談会～

日時:12月9日(土) 10:00～12:00

場所:カフェ土瑠茶(さいたま市役所前、さいたま市浦和区仲町4-11-14)

避難している中で埼玉県で高校受験をするみなさんにとっては、受験の流れや仕組みについて、不安なことがあるかと思います。

講師としてさいたまユースサポートネットの方をお招きして、受験について、北辰テストについて、フリースクールについて、などで説明いただきます。

また、受験を経験した避難ママの話、大学生の体験談などを共有して、みなさんでお話をしたいと思います。

主催:ぽろろん、ここカフェ@川越

協力:NPO法人埼玉広域避難者支援センター、NPO法人さいたまユースサポートネット

『福玉便り』読者アンケートのご協力をお願い

『福玉便り』に読者登録をされている方々には、今号と一緒に、読者アンケートを同封させていただきました。今後の支援活動および『福玉便り』紙面の参考とさせていただくため、アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。ご回答後は同封の返信用封筒に入れ、2017年12月31日(日)までにご投函いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

『福玉便り』編集委員会

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター
電話080-4331-0290

メール:fukutama@431279.com

こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をお寄せください。

福玉便りのお届け作業と一緒にやっくださる方、大募集!

12月21日(木)13:30-16:00ごろ

場所:ときわ会館1F 福島県県外避難者相談センター 奥

印刷などの都合で日程が変更になるときがあります。できれば、ご一報・ご確認いただければ幸いです。080-4331-0290まで



第16回福玉サロンin所沢

9月28日、新所沢公民館調理講習室において、「第16回福玉交流サロンin所沢」を開催いたしました。テーマは「心をゆるめておいしい時間」ということで、「福島」の郷土料理をみんなでおいしく食べて、それを食しながら楽しくおしゃべりしましょう」という企画でした。

メニューはおふかし、しみもち、きのこ汁、甘酒、漬物などで、味付けもみなさんの家庭の味をうかがいながら決めました。もちろん材料もできるだけ福島県産にこだわりました。

当日は10名の方が参加してください、皆さんで味見をしたり、意外なコツを伝授してくださったり、たいへん美味しく出来上がりました。懐かしい味にお話しもはずんだようです。

今回は原子力損害賠償に関する無料個別相談会も同時開催されました。お互い情報交換をしたり専門家に相談したりする機会は、これからはますます必要となってくると思います。

私たち支援員も少しでも皆さんのお力になれるよう頑張っていきたいと思っています。

(福島県復興支援員 野崎)



あつまれ東北人！第17回福玉サロンin羽生

11月14日(火)、羽生市内にあるスーパー健康ランド「華のゆ」で、福玉サロンが開催されました。この日は「埼玉県民の日」で、小中学校はお休みの日でした。今回の参加者は39名で、小学生以下のお子さん3名、元氣良く参加されました。

南相馬市民、浪江町民、双葉町民、大熊町民、富岡町民、また、震災前に大熊町から羽生市に嫁がれた方も参加されました。「浜通りの言葉でしゃべれんのは、いいなあ、ここだけだつぺよ！」と、皆さん大盛り上がりで話していました。自己紹介の後に催された、「いかん人参コンテスト」は、5家族からの出品があり、色も形も大きさも様々な「いかん人参」が集まってそれぞれの家庭の味を楽しむことが出来ました。大堀相馬焼の「湯吞じゃわん」がもらえる、じゃんけん合戦も行われ、大賑わいのサロンでした。



サロン終了後には、天然温泉「源泉かけ流しの湯」に浸かって、それぞれの疲れを癒していた様子でした。(参加者の方より)

ふれあいフェスティバル



2017年10月1日、秋晴れの篠崎公園にはたくさんのブースが並び、東京や関東に避難している方と支援者による大交流会が開催されました。「ふれあいフェスティバル」と呼ばれるこのイベントは今年で3回目の開催になります。10月にもかかわらず、この日は汗ばむ陽気でしたが、参加者は500人を超え、お年寄りから子どもまで、公園の日陰で涼みながら語らう姿が見られました。

30以上あるブースでは豚汁、焼きそば、支援グッズが販売され、ステージでは参加団体による歌やダンスなどが披露されていて、公園内はとても賑やか。

福島県双葉町から埼玉県加須市に避難をした皆さんも、「埼玉県双葉町自治会」のブースを設けて柏餅、丁寧に育てたお野菜、手作りグッズを売っていらつやいました。原発事故前に双葉町にいた頃から作っていた方のプロの柏餅。皆で、早朝から仕込みを行ない、加須市からバスに乗ってやってきたそうです。私も柏餅を購入し、とても美味しくいただきました。

(編集部・吉田)

さつまいも掘り

10月8日(日)、晴天の下、越谷市の「あゆみの会畑」にてあゆみの会の交流会が開催されました。春に植えたさつまいもが大きくなって、この日はその収穫イベントでした。

あゆみの会の方々だけでなく、浪江町復興支援員の方々、近隣の花田4丁目自治会の方々も手伝いに集まって、40人以上の参加がありました。午前中に掘ったさつまいもが、お昼時にはすぐに焼きいもとなり、サンマと鮎、なみえ焼きそば、お酒も振る舞われ、賑やかな会になりました。私もゼミの学生たちと一緒に、楽しく参加させていただきました。

途中で越谷市長も挨拶にお越しになり、この日の様子はNHKの首都圏ニュースでも取り上げられました。避難した方々と地元の方々が畑作業や食事を通して楽しい時間を共有するとともに、避難した方々が埼玉に大勢いらつしやることを知ってもらつ、貴重な機会になったと思います。また来年の収穫も楽しみます。



(編集部・原田)



●ふくしま避難者交流会

日時 平成29年12月23日(土・祝)14:00~

場所 東京国際フォーラム ホールD5

■個別相談会 原子力損害賠償・廃炉等支援機構(弁護士)による専門相談/福島県居住支援協議会による住宅再建等相談/除染に関する相談 ■福島県立いわき総合高等学校によるフラダンスショー ■避難されている方、支援されている方が製作した小物類、情報紙等の展示 ※同日、東京国際フォーラムでは、ふくしまの魅力を体感できるイベント「FUKU FES 2017ふくしま大交流フェスタ」が開催されます。ふくしまのおいしい物や特産品が展示、販売されますので、ぜひ一緒に足を運んでください。

ままカフェ@TOKYO (避難されているママたちの交流会) 場所: 会議室 D401 入場無料 ※ 交流会会場の1階下の4階フロアで開催します。お子様が遊べるスペースや「ホッ」とくつろげる場所を用意しております。個別相談や交流の際に、ぜひご活用ください。

■会場のご案内■

東京国際フォーラムホールD5 (5階)

東京都千代田区丸の内3-5-1

《最寄り駅》

地下鉄

・有楽町線有楽町駅(B1F 地下コンコースにて連絡)

・日比谷線銀座駅徒歩5分/日比谷駅徒歩5分

・千代田線二重橋前駅徒歩5分/日比谷駅徒歩7分

・丸の内線銀座駅徒歩5分

・銀座線銀座駅徒歩7分/京橋駅徒歩7分

・三田線日比谷駅徒歩5分

JR線

・有楽町駅徒歩1分

・東京駅徒歩5分(京葉線東京駅とB1F 地下コンコースにて連絡)



ドキュメンタリー映画

「Life 生きてゆく」 自主上映会

【日時】2017年12月9日 13:30~

【場所】市民会館うらわ

上映時間は約2時間です。休憩後、笠井監督を交えたワークショップを企画しております。当日参加可(定員に達した場合優先予約となります)。下記アドレスに参加者全員のお名前(ひらがな、件名はlife上映予約)をお知らせください。

【料金】500円(資料代として)

【主催】埼玉大学学生サークル ふくたま

【協力】さいだい交流ひろば(埼玉大学教育基盤センター)

予約・問い合わせfuku.tama.1707@gmail.com

[作品紹介]

南相馬市萱浜地区で、両親と2人の子どもを津波で流された上野さん。必死の搜索の最中に22 km先の福島第一原発が爆発。しかし上野さんは避難を拒み、そこで生きることを決めた。やがて失われた命の記憶と新しい命が会い、そこで新しい道が開けてくる。これは、萱浜地区でたった1軒残された家と命の物語。東日本大震災から6年、いまだ届かぬ声を伝えるドキュメンタリー。



[主催者より]

福島に想いを寄せる埼玉大生が、福島と埼玉を繋げる活動をしている「埼玉大学学生サークルふくたま」です。

震災から6年と8か月が経過しました。あの日から、みなさんはどんな想いを抱えて生きてきたのでしょうか。

震災当時中学生だったわたしたちは、福島に想いを寄せるきっかけ、少しでも福島に向き合うきっかけの場をつくりたいと思い、この上映会を企画しました。様々な立場の方がいて、感じることも様々かと思いますが、より多くの皆さんにこの映画を届けたいと思っています。

会場でみなさまにお会いできることを楽しみにお待ちしております。



2017年度第2回住宅説明会



④暴力団員でないこと。
⑤持ち家が、子ども被災者支援法における支援対象地域（自主避難地域）であれば困窮とみなしている。

⑥入居手続きまでに県民税・市町村民税の滞納がないこと。
また、定期募集と随時募集があり、定期募集は年4回募集をしています（4月、7月、10月、1月）。定期募集の場合は上記資格を満たせば一般枠で申し込みができるほか、「福島県東京電力原子力事故による自主避難者向け一般住宅」に申し込みができます。ここで「自主避難者」とは「平成23年3月11日時点で、福島県中を通りおよび浜通り（避難指示区域を除く）に居住していた世帯で、避難元市町村が発行する居住実績証明書（世帯）を有している世帯」を指し、避難指示が解除された区域の方々も対象となります。

①単身者対応住宅を除き、基本的には同居親族のいる人向け。
②世帯全員の収入月額が指定の範囲内であること。
③埼玉県内に住所又は勤務場所があること。ただし避難した方の場合は、住民票が福島県にあっても、埼玉県に居住実態があれば可能となる。

また、定期募集と随時募集があり、定期募集は年4回募集をしています（4月、7月、10月、1月）。定期募集の場合は上記資格を満たせば一般枠で申し込みができるほか、「福島県東京電力原子力事故による自主避難者向け一般住宅」に申し込みができます。ここで「自主避難者」とは「平成23年3月11日時点で、福島県中を通りおよび浜通り（避難指示区域を除く）に居住していた世帯で、避難元市町村が発行する居住実績証明書（世帯）を有している世帯」を指し、避難指示が解除された区域の方々も対象となります。

10月12日、浦和コミュニティセンターにて、埼玉広域避難者支援センター主催の住宅説明会が開催されました。埼玉県住宅課の職員の方々にお越しいただき、県営住宅の募集等についてご説明をいただきました。

説明会では、こうした制度についてご説明をいただいたのち、参加者の方々から、個別の事情に合わせたご質問がありました。岩手県から避難した方によるご質問に対しては、現状の特別枠は福島県の方のみが対象となっており、一般枠で申し込みいただくことになるが、埼玉県・岩手県で協議を行いたいというご返答をいただきました。この件について何か進展がありましたら、誌面でお知らせします。

2017年度第3回住宅説明会

2018年1月12日（金）10：00～12：00
市民会館うらわ505集会室
お申込み、お問い合わせ
埼玉広域避難者支援センター
080-4331-0290 へ
fukutama@431279.com まで。

今年度の県営住宅の定期募集は、次の1月が最後となります。1月にも住宅説明会を開催いたしますので、入居を検討されている方は、ぜひご参加ください。（編集部・原田）

福島県県外避難者相談センターからのお知らせ

お気軽に お電話ください。相談員が丁寧にお話をうかがいます
月～金曜日 9時～17時

社会福祉士、看護師、上級教育カウンセラー等の資格を持つ相談員が、電話や来所にて、ご相談やご質問をお受けいたします。福島のこと、埼玉での生活でお困りのこと、知りたいこと、誰かに聞いてほしいこと、どんなことでも構いません。お話をうかがい、解決に向けてお手伝いいたします。すぐに解決しないことは、一緒に考えていきましょう。秘密厳守ですので、どうぞご安心ください。

相談ダイヤル： **0120-60-7722**

*フリーダイヤルですので通話料の心配がいりません。



相談コーナー、
情報コーナーもあります

山内悟さん

(「榎葉町」やぶそば「店主」)

榎葉町から

東京都葛飾区に避難

三月十一日は子どもの卒業式

があつて、偶然家族と一緒に店にいたときに地震が起きました。お客さんは二人くらいいたのかな。地震はすぐかったですよ。店の前は地割れはするし、六国(国道6号線)は蛇が動いているように波打っていました。それでも自宅のほうは被害がなかったんです。この地震の直後に、妻が「何が起きててもいように、ガソリンを入れておこう」と、長女と二人でガソリンをいれていたんです。私も前日に出前の車にはガソリンを入れていて、このおかげで東京まで避難ができたんですが…

避難の指示があつたのは、地震の翌日でした。防災無線の放送があつたのかな。みんな一斉に避難を始めて。私たちも隣のパーマ屋さんと一緒に避難をしました。最初は榎葉町から北上して、富岡町のほうに逃げていったんですよ。でも途中で警備員が「こっちは来ないでください」と止めていたから、そのまま山麓線でいわき市のほうに抜けて山の中を車を走らせて6号線に戻りました。避難は家族5人です。妻と、長女、長男、次

女と私。犬が一匹いたので、その犬も連れて。

いわき市に入つて、とりあえず第六小に避難をしました。ここには二晩泊まりましたね。本当にたくさんの方がいて、おそらく八百人くらいいました。動物を連れてくる人はグラウンドに車を泊めて寝泊まりしている人もいましたね。その時に、東電の職員が状況報告をしていたんです。「あと二、三日で帰れます」と。避難している人たちが次々に質問をしていたんですが、職員は答えられなくてオドオドしていました。それを見て「本当に信じられるのかな」と。東電社員はこのころにすでに原発が爆発していたことを知っていたんじゃないかなと思います。

ちょうどその頃、Jヴィレッジのホテルから食材が届いていました。電気が通っていないので、冷蔵庫が使えないため、食材を避難所で使ってください、ということだったんですね。私は「やぶそば」の店主だと皆さん知っていましたから、何か作ってほしい、と依頼されて、僕と十人くらいでおじやを作りました。そのころ、固い冷たいおにぎりしかなくて、特にお年寄りなんかはお茶で流し込むように食べていたんです。おにぎりの梅干し

の種をとって、大きい寸胴四つくらいに鶏肉とか野菜とかいろいろな食材を入れて。入れ物がなかったんで、紙コップで八百食、間に合つたんだよね。

その頃、東京の葛飾区にいた兄が「今いるところも危ないから俺のところに来い」と言ってくれたんですね。兄弟でも「おいで」と言われないとなかなか押しかけられないですよ。そこには数日いましたが、やはり長居は申し訳なくてできませんでした。ちょうどその頃、葛飾区のまなび交流館が避難場所を作つていて、そこに入るのができました。三月いっぱいまで居たのかな。今度は四月になって子どもたちを学校に入れなくちゃいけない、と考えたりして、近くの学校の入学手続きをしました。

私も子どもたちも全然違うところで生活を始めるのは僕らにとっては本当にストレスでしかなかったんですね。特に息子は本当につらい思いをしています。ちょうど就職が決まったところだったのに、結局一日も働けなかったんです。本人はやる気だったのに、鬱のようになってしまつて。今は近くのスーパーで働いていますが、ちゃんとした住所があれば就職活動ができるけれど、それも出来ないま

まで。本当に毎日毎日が先が見えないストレスですよ。

まなび交流館のあとは、四月頃から葛飾区の区営住宅に入ることができたんです。今いるところは娘の学校の目の前だったので良かったです。それから今に至るまで、その場所で生活しています。

榎葉町は来年三月で借上住宅は打ち切りになります。それまでに引越しをしないとはならなくて、いま、妻が準備してくれています。戻すために自宅をリフォームしたり、荷物を準備したり。お店は、今までのところではなく、他の場所でお店を再開する予定です。でも、榎葉町も昔の面影がなくなつてしまいましたね。こう人に話すことはできるけれど、気持ち落ち着いているわけでもなくて、ストレスを抱えているんですよ。国と東電の責任はとってもらいたい。僕らは100%悪くないんです。これまでも…例えば保育所の子どもを原発に連れて行って写真を撮つてその写真を「安心安全」の広報に使ったりしていたわけですよ。再稼働とか、本当にやめてほしいと思います。我々の住んでいた榎葉町の現場、いわきの仮設、現状を知ってほしいですね。いわきの仮設なんかね。仮設

も最後に残るのが年寄りの単身者なんです。僕が行ったりすると年配の人が集まってくるんですよ。「息子が迎えに来るまでは帰れないんだ」なんて言っていたり、「ここですめしかなんだ」と言う人もいたり。でもね。やっぱり僕らは悪いわけじゃないんです。十月十日に私も原告として参加している生業訴訟の判決が出ましたが、僕らにとってはあれが勝訴になつてもならないと困るんです。全然責任を取る人がいないことが問題ですから。被害者はすぐバカにされている。力で握りつぶされているんですよ。

本当は、嫌なことは忘れない。僕らは前に進むしかない。昔のお客さんでね。岩手の絵の先生がいたんです。岩手から東京の銀座で個展を開くたびに、うちのお店に寄つてくれて。十年くらい付き合ひしかなかったです。うちの手作り味噌のお味噌汁を「美味しい」って喜んでくれて、お味噌をおすそ分けしたんですよ。それを覚えていてくれて、原発事故後に僕のことを探してくれて、支援物資を送ってくれたんです。僕は忘れかけていた縁でした。こういう温かい思いは、本当に嬉しかったですね。(聞き手：編集部・吉田)

住民票を移していなくても 介護サービスを利用できます

震災発生から6年を超える日々が過ぎ、長きにわたる避難生活の中で体調を崩される方が数多くいらっしゃると思います。ご高齢の方の場合、避難元では地域ごとの見守りや通い慣れた医療機関などと連携して介護サービスを受けていらつしやったところを、避難先ということで介護サービスを受けることを遠慮なさっている場合もあるようです。最近、私たち震災支援ネットワーク埼玉（SSN）のスタッフは、親御さん、御連れ合いの介護で大変な思いをなさっている方にお目にかかる機会が増えてきました。

実は、「原発避難者特例法」により、介護サービス、児童・障害者向けの医療・福祉・教育などの行政サービスを、住民票を移すことなく避難先でも受けられるように定められています。当初、避難者を受け入れている自治体ご

とに保育所、児童扶養手当、消防、救急、ゴミ処理など、避難者が受けたサービスにかかった費用を精算し、国が特別交付税として配分を行っていました。

ところが、受け入れ自治体として実際にかかった経費をすべて把握することは困難で、国からの特別交付税で措置されない負担が生じてしまう場合もあり、一部では避難者を受け入れている地域の住民が「住民票を移していない避難者が住民税を納めることなく行政サービスを受けているのはいかなものか？」という不満を寄せるケースもあつたようです。そこで国としては、避難者1人当たり年間にかかる標準的な単価を、約4万2000円として設定し、受け入れ自治体に配分するようになっていきます。なお、この財政支援は、原発避難者特例法に基づいて福島県内13市町村から避難者を受け入れて

いる自治体が対象となっています。

このようなことから、介護保険は住民票を移していなくても、避難先で受けることができるようになっていきます。訪問介護・看護、通所介護・リハビリテーション、短期入所サービス、さらには介護ベッド、車椅子などの貸与、住宅改修費の支給など、さまざまなサービスが多数あります。親御さん、御連れ合いのご負担を少しでも軽減するために、まずは避難先の最寄りの役所の福祉関連の窓口にご相談いただければ親切に対応していただけると思います。

もちろんSSNでも相談に応じています。電話、ご要望に応じて面談で状況をお聞きして、最適な関連部局、関連団体につなぐようにいたします。

ぜひ、ご遠慮なさらずに一度ご連絡ください。

震災支援ネットワーク埼玉（SSN）・愛甲 電話番号：048-829-7400 メール：desk@431279.com

「全国避難者情報システム」への 登録確認を！

最近、「これまで届いていた行政からのおたよりが届かなくなった」というお問い合わせをいただくことがあります。借上住宅から退去した、無償から有償に切り替わった、自宅を購入した、という方が、受け入れ自治体（埼玉県内の市町村）の対応によっては、避難者登録から外されてしまっているようなのです。

「全国避難者情報システム」とは、避難してきた方が自身が、避難した自治体の窓口にて「避難してきています」という個人情報（氏名、生年月日、性別、避難前の住所、避難先の情報）を登録することによって、避難元の自治体から様々な情報（税や保険料の減免、猶予、期限延長のお知らせ、避難元自治体の広報等）を受けられるしくみです。

本来、避難者のみなさんが自身が「借上住宅から退去しても『避難状態』である」という場合、本人の同意無しに登録から外されることはないことになっていますが、残念ながら誤った事務処理をされているケースもあるようです。

ご心配な方は、受け入れ自治体（いまお住まいの市町村）の窓口にお問い合わせをしてみてください。問い合わせ窓口が不明な方は、お住まいの市町村の代表番号に電話をして「東日本大震災、原発事故によって避難しているが、避難者情報システムに登録されたままになっているかどうか、知りたいので、担当課にたずねてください」と言えば、窓口の方につないでもらうことが可能です。避難元からの情報を受け続けたいという方は、ぜひ、ご確認ください。

29 鳩のつどい
月2回 10:00～12:00
JAXA鳩山宿舎108号室
☎ 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

32 福玉・謡曲の会
12/10(日)視聴覚室1/27(土)和室
10:30～12:00 WithYouさいたま
☎ 090-6128-1948 (小林さん)

33 つながり
奇数月第一土曜日(1月はお休み)
毛呂山中央公民館
毛呂山町 ☎ 090-9032-8116 河井さん

16 あゆみの会
12/2(土) 男の料理教室
15:00～ 花田四丁目自治会館
12/10(日) 餅つき大会
花田四丁目公園
越谷市 ☎ 090-9425-2001(石上さん)



17 つながりの会
東北復興支援販売
草加市物産・観光情報センター
☎ 048-932-6770(草加市社協地域福祉担当)

18 ひまわりの会
12/20(水) 10:00～15:00
1/17(水) 10:00～15:00
やすらぎ会館
☎ 080-5431-0123(島田さん・留守電)

19 さいがい・つながりカフェ
月2回木曜日11:00～15:00
12/14(木)、1/11(木)、1/25(木)
With You さいたま 4F 和室
(埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
04さいがい・つながりカフェ ☎ 048-601-3111, tu-nagari.saitama@gmail.com

24 新座さいがい・つながりカフェ
新座市 ☎ 090-2402-9155(谷森さん)

25 青空あおぞら
12/17(日)アロマdeクリスマス会
1/28(日) 正月会
13:30～16:00
新所沢公民館(お子様OK! 法律相談可)
所沢市 ☎ 048-829-7400(SSN)

26 お茶飲み交流会
隔月1回 10:00～12:30
☎ 049-251-2711(富士見市安心安全課 梶田さん)

27 おあがんなんしょ
12/17(日) クリスマス会&年忘れ会13:00～フクトピア
1/21(日) 成田詣に参加
☎ 090-5345-8408(松館さん)

28 ここカフェ@川越
☎ 070-5594-0053(鈴木さん)

こちらのサイトにも情報があります。
<http://431279.com/>
(SSN震災支援ネットワーク埼玉)

4 加須ふれあいセンター
石ふれあい食堂月～金の毎日(11時～13時は日替わり定食400円、13時から無料カフェ)
加須市正能11-5 ☎ 090-1650-2874(富沢さん)

5 すくすくのおそび広場
12/3(日)1/7(日)おそび広場
10:00～14:00 不動岡公民館
毎週木曜 中高生勉強会
17:00～19:00 市民プラザかぞ
☎ 090-2411-8598(戸恒さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
12/2(土) 定例会合
14:00～16:00
シラコバト団地第一集会所
12/10(日) 忘年会
12:00～17:00 シラコバト団地第二集会所(飲食物持参、参加費無料、団体外の参加歓迎)
上尾市 ☎ 048-607-6723(団地自治会事務所、☎ 080-3091-6215(橘さん))

10 くまがや結の会熊谷市
12/16(土) 忘年交流会
11:00～カフェタイム
090-7661-9236(林崎さん)

11 羽生つながりカフェ
1/7(日) ふれあいカフェ「キャロット」さんによるイベント(正月遊び・むかしのあそびを楽しむ)
10:00～12:00
乳幼児～小学生、その保護者(祖父母可)
参加費無料
パープル羽生多目的ホール ☎ 080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
久喜市 ☎ 090-6855-7140(木幡さん)

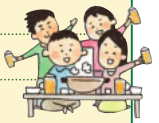
14 春日部つながりカフェ
12/6(水)
1/17(水) 正月料理会
13:30～16:00
コーププラザ春日部2F会議室1(法律相談可能)
☎ 048-829-7400(SSN)

15 ひだまり広場
12/17(日)、1/21(日)
12:30～16:30
ほっと越谷(北越谷駅東口1分)
☎ 080-5742-3056(市川さん)

1 ぼろろんの時間
教育相談会
12/9(土)10:00～12:00
詳細は1ページ
☎ 070-5594-0053(鈴木さん)

1日(金)	
2日(土)	16 8
3日(日)	5
4日(月)	
5日(火)	
6日(水)	14 3
7日(木)	3
8日(金)	8
9日(土)	1
10日(日)	16 32 8
11日(月)	
12日(火)	
13日(水)	
14日(木)	19
15日(金)	
16日(土)	10 28
17日(日)	25 27 15
18日(月)	
19日(火)	15
20日(水)	18
21日(木)	
22日(金)	
23日(土)	
24日(日)	
25日(月)	
26日(火)	
27日(水)	
28日(木)	
29日(金)	
30日(土)	
31日(日)	

12月



福玉便り発送
13:30～



1 双葉町民による ボランティアカフェ
1/18(水)
10:00～15:00
(法律・心の相談可能)
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
加須市騎西501-13 ☎ 048-829-7400 SSN

3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがい・つながりカフェ
12/6(木) 1/11(木)9:30～11:30
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
☎ 080-5532-7380(薄井さん)

●福島原発事故責任追及訴訟 第19回期日

訴訟後の報告集会では、当日の法廷でのやりとりを分かりやすくご説明します。ぜひ一度傍聴にお越しください。【日付】12月20日(水)【開廷】11:00・さいたま地裁101号法廷【集会】裁判終了次第・埼玉総合法律事務所3F会議室【交通】いずれもJR浦和駅西口より徒歩約10～15分【詳細】<http://fukusaishien.com/>【問合】048-960-0591(みさと法律事務所)